

校舎配置案ごとの特徴比較表 (要点集約版)

校舎配置案		A 校舎病院側案	B 校庭病院側案	C その他1	D その他2 (1の左右逆)
<p>校舎配置案</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通教室 (青) 体育館 (オレンジ) 学校正面口 (赤) 車両出入口 (緊急時) (青) 車両出入口 (給食搬入用) (青) 冬至13時の影 (点線) 学校用地 (赤) 道路面の高さ (円) <p>※敷地右上端の最も地盤面の低い場所を基準とします。</p>					
項目					
校舎環境	階数	○ ・5階建て	△ ・6階建て	○ ・5階建て	△ ・5階建て
	ワークスペース	○ ・全ての普通教室前に設けることができる。	× ・3箇所程度設けることができる。	× ・3箇所程度設けることができる。	× ・3箇所程度設けることができる。
	高低差	○ ・校舎と校庭の高低差は最大約50cm。	△ ・校舎と校庭の高低差は最大約90cm。	○ ・校舎と校庭の高低差は最大約50cm。	○ ・校舎と校庭の高低差は最大約50cm。
校庭環境	広さ	○ ・約2,700㎡ ※現校庭の1.5倍	△ ・約2,630㎡ ※現校庭の1.46倍	× ・約2,070㎡ ※現校庭の1.15倍	× ・約2,250㎡ ※現校庭の1.25倍
	走路	○ ・100mトラックと50m走路。	○ ・100mトラックと50m走路。	△ ・80mトラックと50m走路。	△ ・80mトラックと50m走路。
	日照	△ ・冬季、午前中は良。午後にかけて陰る。 ・春にかけて日照は改善し、15時でも半分程の日照がある。	△ ・冬季、常に一部又は概ね全体が陰る。 ・春にかけて日照は改善し、15時でもほぼ全域で日照がある。	△ ・冬季、午前中は良。午後にかけて陰る。 ・春にかけて日照は改善するが、15時の日照は1/3程度。	△ ・冬季、常に一部又は概ね全体が陰る。 ・春にかけて日照は改善し、15時でも2/3以上日照がある。
近隣環境	日影	○ ・冬季 朝に北西の一部住居以外ほとんど影がかからない。	× ・冬季 北西から影がかかり、夕方の北東は広範囲にかかる。	△ ・冬季 北西から北東にかけて影がかかる。	× ・冬季 北西の一部と、夕方に北東に長く影がかかる。
	校舎からの音	○ ・住居に面する教室が少なく音の影響が少ない。 特別教室は病院側。	× ・広く教室が住居に面するため音量のある活動は配慮を要する。 ・給食調理室の運用にも住居への配慮が必要。	△ ・北住居側に教室があり、廊下での音量のある活動は配慮を要する。	△ ・東住居側に教室があり、廊下での音量のある活動は配慮を要する。
	校庭からの音・砂埃	× ・3方に漏れやすい。	△ ・2方に漏れやすい。 ・病院棟の反響に配慮を要する。	△ ・2方に漏れやすい。	△ ・2方に漏れやすい。
	街との関わり	○ ・正門前にまちかど広場を設置できる。	△ ・校庭の段差があり、正門前に広場を設けるスペースがない。	○ ・正門前にまちかど広場を設置できる。	△ ・正門前が校庭に近く広場を設けるスペースがない。
防災	浸水対策	○ ・想定浸水深からみて高い地盤側を中心に校舎を建てて対策。	× ・校舎1階が想定浸水深よりかなり低く、止水板等による対策が必要。	○ ・想定浸水深からみて高い地盤側から低い位置にかけて校舎を建てるが、高い面に校舎1階を合わせて対策。	○ ・想定浸水深からみて高い地盤側から低い位置にかけて校舎を建てるが、高い面に校舎1階を合わせて対策。

※本図面は検討段階のものであり、各種手続き・届出等により変更となる可能性があります。